

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成27年4月2日 (2015.4.2)

【公開番号】特開2012-232115(P2012-232115A)

【公開日】平成24年11月29日 (2012.11.29)

【年通号数】公開・登録公報2012-050

【出願番号】特願2012-96054(P2012-96054)

【国際特許分類】

A 6 3 B 55/57 (2015.01)

【F I】

A 6 3 B 55/06

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月13日 (2015.2.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

外部ブラケット側と外部ブラケット側の反対側に位置する内部ブラケット側とを備えるブラケット壁と、

ブラケット壁の外部ブラケット側に隣接する第 1 のドックと、
を備えるブラケットと、

第 1 のドックとヒンジ結合される第 1 のヒンジ部材と、を備え、

第 1 のヒンジ部材は、

第 1 の上端部と、

第 1 の上端部の反対側に位置する第 1 の底端部と、

第 1 の上端部と第 1 の底端部との間に伸びる第 1 の側壁と、

第 1 の上端部に位置し、停止部を備える第 1 の突出部と、

第 1 の側壁によって画定される第 1 の穴と、を備え、

第 1 の軸線は、第 1 の突出部の中心及び第 1 の上端部と第 1 の底端部との間を通過して伸びており、

第 1 のドックは、ブラケット壁の外部ブラケット側に伸びる第 1 の切欠きを備え、
ゴルフバッグ支持機構が収納状態にある場合、

収納角度は、第 1 の軸線とブラケット壁との間に存在し、

第 1 の突出部は、第 1 の切欠きから離間され、

ゴルフバッグ支持機構が伸張状態にある場合、

収納角度よりも大きな伸張角度は、第 1 の軸線とブラケット壁の間に存在し、

第 1 の突出部の停止部は、第 1 の切欠きに受容される、ゴルフバッグ支持機構。

【請求項 2】

第 1 の穴は、第 1 の底端部から第 1 の上端部に向かって伸びており、

第 1 の穴は、第 1 の軸線を中心に配置され、

第 1 の突出部は、第 1 のヒンジ部材の第 1 の上端部の中心に配置され、

ブラケットは、内部ブラケット側がゴルフバッグに対向するように、ゴルフバッグの上部バッグ部分に結合される、請求項 1 に記載のゴルフバッグ支持機構。

【請求項 3】

ブラケットは、ゴルフバッグの上部バッグ部分に結合され、

ブラケット壁は、上部バッグ部分のバッグ側壁に結合され、かつ、実質的に平行に位置する、請求項 1 又は 2 に記載のゴルフバッグ支持機構。

【請求項 4】

第 1 のヒンジ部材の第 1 の穴は、第 1 の支持脚の第 1 の端部を受容し、

ゴルフバッグ支持機構が、バッグ側壁に結合され、第 1 の支持脚の第 1 の端部が第 1 のヒンジ部材の第 1 の穴内に受容され、ゴルフバッグの底部及び第 1 の支持脚の第 2 の端部が支持面上に支持されている間に、ゴルフバッグ支持機構が伸張状態にある場合、

第 1 の突出部の停止部は、第 1 の切欠きをブラケット壁に沿う方向に押す、請求項 3 に記載のゴルフバッグ支持機構。

【請求項 5】

第 1 の切欠きは、ブラケット壁を、ブラケット壁の外部ブラケット側から内部ブラケット側まで完全に貫通して伸びており、

ゴルフバッグ支持機構が伸張状態にある場合、第 1 の突出部の少なくとも一部は、第 1 の切欠きを、ブラケット壁の内部ブラケット側からブラケット壁の外部ブラケット側まで通って伸びる、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載のゴルフバッグ支持機構。

【請求項 6】

第 1 の突出部は、真直な楕円形又は楕円形のうちの 1 つからなる、請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載のゴルフバッグ支持機構。

【請求項 7】

第 1 の突出部の停止部は、曲面状に形成されており、

第 1 の切欠きの底部は、第 1 の突出部の停止部に適合するように曲面状に形成されている、請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載のゴルフバッグ支持機構。

【請求項 8】

第 1 のヒンジ部材を第 1 のドックにヒンジで留める第 1 のクレビスピンをさらに備え、

第 1 のドックは、

第 1 の切欠きを備える第 1 の後壁と、

第 1 の後壁に実質的に垂直であり、第 1 の後壁の両端に結合される第 1 及び第 2 の耳部と、を備え、

第 1 の耳部は、第 1 の耳孔を備え、

第 2 の耳部は、第 2 の耳孔を備え、

第 1 のヒンジ部材は、

第 1 の側壁の第 1 の側壁端部であって、第 1 のヒンジ孔を備える第 1 の側壁端部と、

第 1 の側壁端部の反対側に位置する第 1 の側壁の第 2 の側壁端部であって、第 2 のヒンジ孔を備える第 2 の側壁端部と、を備え、

第 1 のクレビスピンは、第 1 のヒンジ部材を第 1 のドックとヒンジで留めるために、第 1 のヒンジ部材のヒンジ軸線に沿って、ヒンジ位置に挿入可能であり、

ヒンジ位置は、第 1 の耳孔と、第 1 のヒンジ孔と、第 1 の穴と、第 2 のヒンジ孔と、第 2 の耳孔内の第 1 のクレビスピンを備える、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載のゴルフバッグ支持機構。

【請求項 9】

第 1 のヒンジ部材は、

第 1 の側壁端部と第 2 の側壁端部との間に位置する第 1 の側壁の第 3 の側壁端部と、

第 1 の側壁端部と第 2 の側壁端部との間に位置し、第 3 の側壁端部の反対側に位置する、第 1 の側壁の第 4 の側壁端部と、を備え、

第 1 の突出部は、

第 3 の側壁端部の方に対向する第 1 の突出部端部と、

第 4 の側壁端部の方に対向する第 2 の突出部端部と、を備え、

第 1 の突出部端部と第 2 の突出部端部とは、ヒンジ軸線を基準に、実質的に互いに対称であり、

第 1 のヒンジ部材は、

ゴルフバッグ支持機構が収納状態にある場合に、第 3 の側壁端部が第 1 のドックの第 1 の後壁に対向し、ゴルフバッグ支持機構が伸張状態にある場合に、第 1 の突出部端部が第 1 の切欠きに係合する、第 1 の向き、又は、

ゴルフバッグ支持機構が収納状態にある場合に、第 4 の側壁端部が第 1 のドックの第 1 の後壁に対向し、ゴルフバッグ支持機構が伸張状態にある場合に、第 2 の突出部端部が第 1 の切欠きに係合する、第 2 の向き

のいずれかの向きで第 1 のドック内に挿入可能である、請求項 8 に記載のゴルフバッグ支持機構。

【請求項 10】

第 1 のクレビスピンは、

クレビス頭部を備える頭部端部部分と、

クレビスピンがヒンジ位置にある場合、第 2 の耳孔から突出する挿入端部部分と、を備え、

挿入端部部分には、保持機構が設けられておらず、

挿入端部部分の最大厚さは、第 1 及び第 2 の耳孔、並びに、第 1 及び第 2 のヒンジ孔のそれぞれの孔寸法に適合する、請求項 8 又は 9 に記載のゴルフバッグ支持機構。

【請求項 11】

第 1 のヒンジ部材の第 1 の穴の内側端部は、内側端部から突出している第 1 及び第 2 の指部を備え、

第 1 のクレビスピンは、頭部端部部分と挿入端部部分との間に、第 1 のクレビスピンを少なくとも部分的に囲む第 1 の溝を備え、

第 1 の指部と第 2 の指部との間の距離は、

第 1 の溝における第 1 のクレビスピンの厚さと適合しており、

第 1 の溝の両側に隣接する第 1 のクレビスピンの厚さよりも薄く、

そして、

第 1 のクレビスピンがヒンジ位置から滑り落ちることを抑制するために、第 1 のクレビスピンがヒンジ位置にある場合、第 1 及び第 2 の指部は、第 1 の溝の両側に位置する、請求項 10 に記載のゴルフバッグ支持機構。

【請求項 12】

伸張角度は、約 40 度から約 60 度までの間で構成される、請求項 1 から 11 のいずれか一項 に記載のゴルフバッグ支持機構。

【請求項 13】

ブラケット壁は、第 1 のドックの反対側であって、かつ、ブラケット壁の内部ブラケット側に位置する 1 個以上の補強リブを備え、

1 個以上の補強リブのうちの少なくとも第 1 のリブは、第 1 の切欠きの底部の下、及び、隣接して位置する、請求項 1 から 12 のいずれか一項 に記載のゴルフバッグ支持機構。

【請求項 14】

第 1 のドックは、

第 1 の切欠きを備える第 1 の後壁と、

第 1 の後壁に実質的に垂直であって、第 1 の後壁の両側に結合される第 1 及び第 2 の耳部と、を備え、

ブラケットは、

ブラケット壁の上部縁端と、第 1 のドックの第 1 及び第 2 の耳部の上部縁端上方に結合される上部壁であって、ブラケット壁から外側に伸びており、かつ、実質的に平行でない上部壁と、をさらに備え、

少なくともゴルフバッグ支持機構が伸張状態にある場合、第 1 のヒンジ部材は、上部壁から完全に離間する、請求項 1 から 13 のいずれか一項 に記載のゴルフバッグ支持機構。

【請求項 15】

第 2 のヒンジ部材をさらに備え、

第 2 のヒンジ部材は、

第 2 のヒンジ部材の第 2 の上端部に位置する第 2 の突出部と、
第 2 の突出部の中心を通して伸びる第 2 の軸線と、を備え、
ブラケットは、ブラケット壁の外部ブラケット側に隣接する第 2 のドックをさらに備え

、

第 2 のヒンジ部材は、第 2 のドックとヒンジ式に結合され、
ゴルフバッグ支持機構が収納状態にある場合、

第 2 の収納角度は、第 2 の軸線とブラケット壁との間に存在し、
ゴルフバッグ支持機構が伸張状態にある場合、

第 2 の収納角度よりも大きな第 2 の伸張角度は、第 2 の軸線とブラケット壁の間に存在し、

第 2 の収納角度は、収納角度に一致し、

第 2 の伸張角度は、伸張角度に一致する、請求項 1 から 1 4 のいずれか一項に記載のゴルフバッグ支持機構。

【請求項 1 6】

ゴルフバッグ支持機構を提供するための方法であって、

外部ブラケット側と外部ブラケット側の反対側に位置する内部ブラケット側とを備えるブラケット壁と、

ブラケット壁の外部ブラケット側に隣接する第 1 のドックであって、ブラケット壁の外部ブラケット側に伸びる第 1 の切欠きを備える第 1 のドックと、
を備えるブラケットを設けるステップと、

第 1 のドックにヒンジ式に結合される第 1 のヒンジ部材を設けるステップと、を備え、
第 1 のヒンジ部材を設けるステップは、

第 1 の上端部を設けるステップと、

第 1 の上端部の反対側に位置する第 1 の底端部を設けるステップと、

第 1 の上端部と第 1 の底端部との間に伸びる第 1 の側壁を設けるステップと、

第 1 の上端部にあり、停止部を備える第 1 の突出部を設けるステップと、

第 1 の側壁によって画定される第 1 の穴を設けるステップと、を備え、

第 1 の軸線は、第 1 の突出部の中心及び第 1 の上端部と第 1 の底端部との間を通して伸びており、

ゴルフバッグ支持機構は、

収納角度が第 1 の軸線とブラケット壁の間に存在し、

第 1 の突出部が第 1 の切欠きから離間される場合に、収納状態に移行可能であり、

ゴルフバッグ支持機構は、

収納角度よりも大きな伸張角度が第 1 の軸線とブラケット壁との間に存在し、

第 1 の突出部の停止部が第 1 の切欠きに受容される場合に、伸張状態に移行可能である方法。

【請求項 1 7】

第 1 のヒンジ部材を第 1 のドックにヒンジで留める第 1 のクレビスピンを設けるステップをさらに備え、

第 1 の穴を設けるステップは、

第 1 の底端部から第 1 の上端部に向かって伸びており、かつ、第 1 の軸線を中心に配置される、第 1 の穴を設けるステップを備え、

第 1 の突出部を設けるステップは、

第 1 のヒンジ部材の第 1 の上端部の中心に配置される第 1 の突出部を設けるステップと、

曲面状の第 1 の突出部の停止部を設けるステップと、を備え、

停止部は、

第 1 の突出部の第 1 の突出部端部と、

第 1 の突出部の第 2 の突出部端部であって、第 1 の突出部端部の反対側に位置する、第 2 の突出部端部と、のうちの 1 個を備え、

ブラケットを設けるステップは、

ゴルフバッグのバッグ側壁と結合され、かつ、実質的に平行位置するブラケット壁を構成するステップと、

ブラケット壁の外部ブラケット側から内部ブラケット側までブラケット壁を完全に貫通して伸びる第 1 の切欠きを設けるステップと、

第 1 の突出部の停止部に適合するように曲面状に形成されている、第 1 の切欠きの底部を設けるステップと、を備え、

第 1 のドックを設けるステップにおいて、

第 1 のドックは、

第 1 の切欠きを備える第 1 の後壁と、

第 1 の後壁に実質的に垂直であり、第 1 の後壁の両端に結合される第 1 及び第 2 の耳部と、を備え、

第 1 の耳部は、第 1 の耳孔を備え、

第 2 の耳部は、第 2 の耳孔を備え、

第 1 のヒンジ部材を設けるステップは、

第 1 の側壁の第 1 の側壁端部を設けるステップであって、第 1 のヒンジ孔を備える第 1 の側壁端部を設けるステップと、

第 1 の側壁端部の反対側に位置する第 1 の側壁の第 2 の側壁端部を設けるステップであって、第 2 のヒンジ孔を備える第 2 の側壁端部を設けるステップと、

第 1 の側壁端部と第 2 の側壁端部との間に位置し、第 1 の突出部の第 1 の突出部端部の方に向かって配置される、第 1 の側壁の第 3 の側壁端部を設けるステップと、

第 1 の側壁端部と第 2 の側壁端部との間に位置し、第 1 の突出部の第 2 の突出部端部の方に向かって配置される、第 1 の側壁の第 4 の側壁端部を設けるステップと、を備え、

第 1 のクレビスピンを設けるステップは、

第 1 のヒンジ部材を第 1 のドックとヒンジで留めるために、第 1 のクレビスピンを、第 1 のヒンジ部材のヒンジ軸線に沿ってヒンジ位置に挿入可能に構成するステップを備え、

ヒンジ位置は、第 1 の耳孔内に挿入され、第 1 のヒンジ孔と、第 1 の穴と、第 2 のヒンジ孔とを通過して、第 2 の耳孔から出る第 1 のクレビスピンを備え、

第 1 のヒンジ部材は、

ゴルフバッグ支持機構が収納状態にある場合に、第 3 の側壁端部が第 1 のドックの第 1 の後壁に対向し、ゴルフバッグ支持機構が伸張状態にある場合に、第 1 の突出部端部が第 1 の切欠きに係合する、第 1 の向き、又は、

ゴルフバッグ支持機構が収納状態にある場合に、第 4 の側壁端部が第 1 のドックの第 1 の後壁に面し、ゴルフバッグ支持機構が伸張状態にある場合に、第 2 の突出部端部が第 1 の切欠きに係合する、第 2 の向き

のいずれかの向きで第 1 のドック内に挿入可能である、請求項 16 に記載の方法。

【請求項 18】

第 2 のヒンジ部材の第 2 の上端部に位置する第 2 の突出部と、

第 2 の突出部の中心を通過して伸びる第 2 の軸線と、を備える、第 2 のヒンジ部材を設けるステップを、さらに備え、

第 1 の突出部を設けるステップは、

第 1 の突出部を真直な楕円形又は楕円形のうちの 1 つで設けるステップを備え、

ブラケットを設けるステップは、

第 2 のヒンジ部材をヒンジ式に受容するために、ブラケット壁の外部ブラケット側に隣接する第 2 のドックを設けるステップをさらに備え、

第 1 のクレビスピンを設けるステップは、

クレビス頭部を供える頭部端部部分を設けるステップと、

クレビスピンがヒンジ位置にある場合、第 2 の耳孔から突出する挿入端部部分を設けるステップと、を備え、

挿入端部部分には、保持機構が設けられておらず、

挿入端部部分の最大厚さは、第 1 及び第 2 の耳孔、並びに、第 1 及び第 2 のヒンジ孔のそれぞれの孔寸法に適合しており、

ゴルフバッグ支持機構が収納状態にある場合、

収納角度に一致する第 2 の収納角度は、第 2 の軸線とブラケット壁との間に存在し、ゴルフバッグ支持機構が伸張状態にある場合、

伸張角度に一致し、かつ、第 2 の収納角度よりも大きな第 2 の伸張角度は、第 2 の軸線とブラケット壁の間に存在し、

ゴルフバッグ支持機構がバッグ側壁に結合され、第 1 の支持脚の第 1 の端部が第 1 のヒンジ部材の第 1 の穴内に受容され、ゴルフバッグの底部及び第 1 の支持脚の第 2 の端部がゴルフバッグを支持面上に支持されている間に、ゴルフバッグ支持機構が伸張状態にある場合、

第 1 の突出部の停止部は、第 1 の切欠きをブラケット壁に沿う方向に押す、請求項 17 に記載の方法。

【請求項 19】

バッグ側壁と、

第 1 及び第 2 の支持脚と、

ブラケットであって、

外部ブラケット側と、外部ブラケット側の反対側に位置する内部ブラケット側と、を有するブラケット壁であって、バッグ側壁に結合され、かつ、実質的に位置するブラケット壁と、

ブラケット壁の外部ブラケット側に位置する第 1 のドックであって、ブラケット壁の外部ブラケット側に伸びる第 1 の切欠きを備える、第 1 のドックと、

ブラケット壁の外部ブラケット側に位置する第 2 のドックであって、ブラケット壁の外部ブラケット側に伸びる第 2 の切欠きを備える、第 2 のドックと、を備える、ブラケットと、

第 1 及び第 2 のクレビスピンと、

第 1 のクレビスピンによって、第 1 のドックにヒンジ式に結合される第 1 のヒンジ部材と、

第 2 のクレビスピンによって、第 2 のドックにヒンジ式に結合される第 2 のヒンジ部材と、を備え、

第 1 のヒンジ部材は、

第 1 の上端部と、

第 1 の上端部の反対側に位置する第 1 の底端部と、

第 1 の上端部の中心に配置され、停止部を備える第 1 の突出部であって、

停止部は、曲面状に形成されており、かつ、

第 1 の突出部の第 1 の突出部端部と、

第 1 の突出部の第 2 の突出部端部であって、第 1 の突出部端部の反対側に位置する第 2 の突出部端部と、

のうちの 1 つを備える、第 1 の突出部と、

第 1 の上端部と第 1 の底端部との間に伸びる第 1 の側壁であって、

第 1 の側壁は、

第 1 のヒンジ孔を備える第 1 の側壁端部と、

第 1 の側壁端部の反対側に位置する第 2 の側壁端部であって、第 2 のヒンジ孔を備える第 2 の側壁端部と、

第 1 の側壁端部と第 2 の側壁端部との間、及び、第 1 の突出部の第 1 の突出部端部の方に向かって配置される第 3 の側壁端部と、

第 1 の側壁端部と第 2 の側壁端部との間、及び、第 1 の突出部の第 2 の突出部端部の方に向かって配置される第 4 の側壁端部と、を備える、第 1 の側壁と、

第 1 の突出部の中心、及び、第 1 の上端部と第 1 の底端部との間を通過して伸びる第 1 の

軸線と、

第１の底端部から第１の上端部に向かって伸びており、かつ、第１の軸線を中心に配置される、第１の側壁によって画定される第１の穴と、

第１のドックは、

第１の切欠きを備える第１の後壁と、

第１の後壁に実質的に垂直に、かつ、第１の後壁の両端に結合される第１及び第２の耳部と、を備え、

第１の耳部は、第１の耳孔を備え、

第２の耳部は、第２の耳孔を備え、

第１のクレビスピンは、第１のヒンジ部材を第１のドックとヒンジで留めるために、第１のヒンジ部材のヒンジ軸線に沿って、ヒンジ位置に挿入可能であり、

ヒンジ位置は、第１の耳孔と、第１のヒンジ孔と、第１の穴と、第２のヒンジ孔と、第２の耳孔内の第１のクレビスピンを備え、

第１の切欠きの底部は、第１の突出部の停止部と適合するように曲面状に形成されており、

ゴルフバッグは、

収納角度が第１の軸線とブラケット壁との間に存在し、

第１の突出部が第１の切欠きから離間される場合に、収納状態に移行可能であり、

ゴルフバッグは、

収納角度よりも大きな伸張角度が第１の軸線とブラケット壁の間に存在し、

第１の突出部の停止部が第１の切欠きに受容される場合に、伸張状態に移行可能であり、

第１のヒンジ部材は、

ゴルフバッグが収納状態にある場合に、第３の側壁端部が第１のドックの第１の後壁に対向し、ゴルフバッグが伸張状態にある場合に、第１の突出部端部が第１の切欠きに係合する、第１の向き、又は

ゴルフバッグが収納状態にある場合に、第４の側壁端部が第１のドックの第１の後壁に対向し、ゴルフバッグが伸張状態にある場合に、第２の突出部端部が第１の切欠きに係合する、第２の向き、

のいずれかで第１のドックに取り付け可能である、ゴルフバッグ。

【請求項 20】

第１の突出部は、真直な楕円形又は楕円形のうちの１つからなり、

第１のクレビスピンは、

クレビス頭部を備える第１の頭部端部部分と、

クレビスピンがヒンジ位置にある場合、第２の耳孔から突出する挿入端部部分と、を備え、

挿入端部部分には、コッタピン係合機構がなく、

挿入端部部分の最大厚さは、第１及び第２の耳孔並びに第１及び第２のヒンジ孔のそれぞれの孔寸法に適合しており、

ゴルフバッグがバッグ側壁に結合され、第１の支持脚の第１の端部が、第１のヒンジ部材の第１の穴内に受容され、ゴルフバッグの底部および第１の支持脚の第２の端部がゴルフバッグを支持面上に支持している間に、ゴルフバッグが伸張状態にある場合、

第１の突出部の停止部は、第１の切欠きをブラケット壁に実質的に平行する方向に押す、請求項 19 に記載のゴルフバッグ。